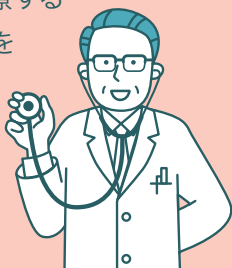


医師の診察が受けやすく、
より親しみやすくなります。

あしでお困りの方がより親しみやすく、診察が受けやすくなるように「あしの外来」と「静脈瘤外来」を統合した新たな部門を開設いたします。全身の血管疾患を包括的に管理治療する「Total Vascular Care」の一役を担う部門として、下肢動脈・静脈とからだ全体の健康と生活を守ることがわたしたちの願いです。



フットケアチームが連携し、歩行機能・
生活習慣の改善に努めます。

あしの症状の多くは、生活習慣が原因です。下肢静脈瘤術後や機能的静脈不全に対し、あし専門のフットケアチーム(外来・院内)が連携しながら歩行機能の改善に努めます。他の疾患が主な原因の場合は、連携する専門病院をご紹介します。



「あしの外来」と「静脈瘤外来」が統合いたします。

新規開設

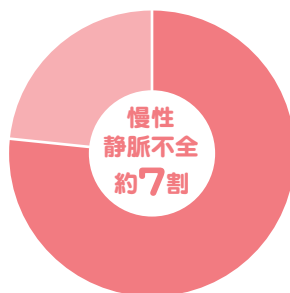
2024.4/1 MON OPEN

あしの診療・静脈センター

あしとからだ全体の両方の視点に立ち、
「予防」「診断」「治療」を行います。

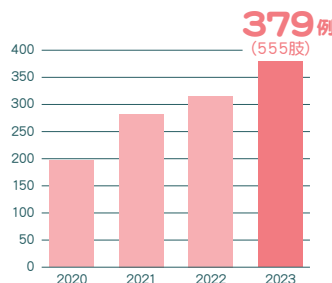
あしの外来の約7割がむくみを主体とした慢性静脈不全で、狭心症と同様に動脈硬化リスクを多く抱えています。あしと全身の両方の視点に立つことで「予防」「診断」「治療」を行うことができます。原因を特定し、循環器内科・心臓血管外科チームによるカテーテル治療、外科治療、下肢静脈瘤を含めた治療など多岐にわたる治療を行います。また、あしの外来には、下肢末梢動脈疾患の患者様も多数いらっしゃいます。中には、趾(あしゆび)のちょっとした小傷から感染して趾、下腿(かたい)の切断に至るような重症下肢虚血の患者様もいらっしゃいます。多くは透析患者様や喫煙者の方ですが、こうした危機的状況に対してもフットケアチーム、内科外科のチームワークで包括的診療を積極的に実施しています。

あしの外来初診患者
(2022年) N=95

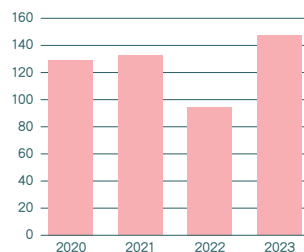


下肢静脈瘤手術

血管内塞栓術、血管内焼灼、硬化療法、高位結紮、静脈除去など日帰り治療が原則。



末梢動脈治療件数



あしの病名

- 静脈機能不全
- 末梢動脈疾患(PAD)
- 静脈瘤
- 静脈性潰瘍
- 蜂窩織炎
- 静脈炎
- 深部静脈血栓症
- 湿疹
- 皮膚炎
- 外反母趾
- 扁平足
- 外傷後遺症
- 膝関節症
- 腰椎症

あしのむくみ・痛み・しびれなどでお困りの際は、いつでもお気軽にお問い合わせください。

岐阜ハートセンター

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南4-14-4

【担当】 富田 伸司 (あしの診療・静脈センター長 心臓血管外科専門医)

お問い合わせはこちら

☎058-277-2277 (代表)

Fax: 058-277-3377

E-mail: tomita@heart-center.or.jp

<https://gifu-heart-center.jp>



HPはこちら

■外来日(あしの診療・静脈センター)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~11:30 | - | - | ◎ | ◎ | ◎ | - | - |
| 14:00~16:00 | - | - | - | ◎ | - | - | - |

※緊急の場合には、いつでも対応させていただきます。